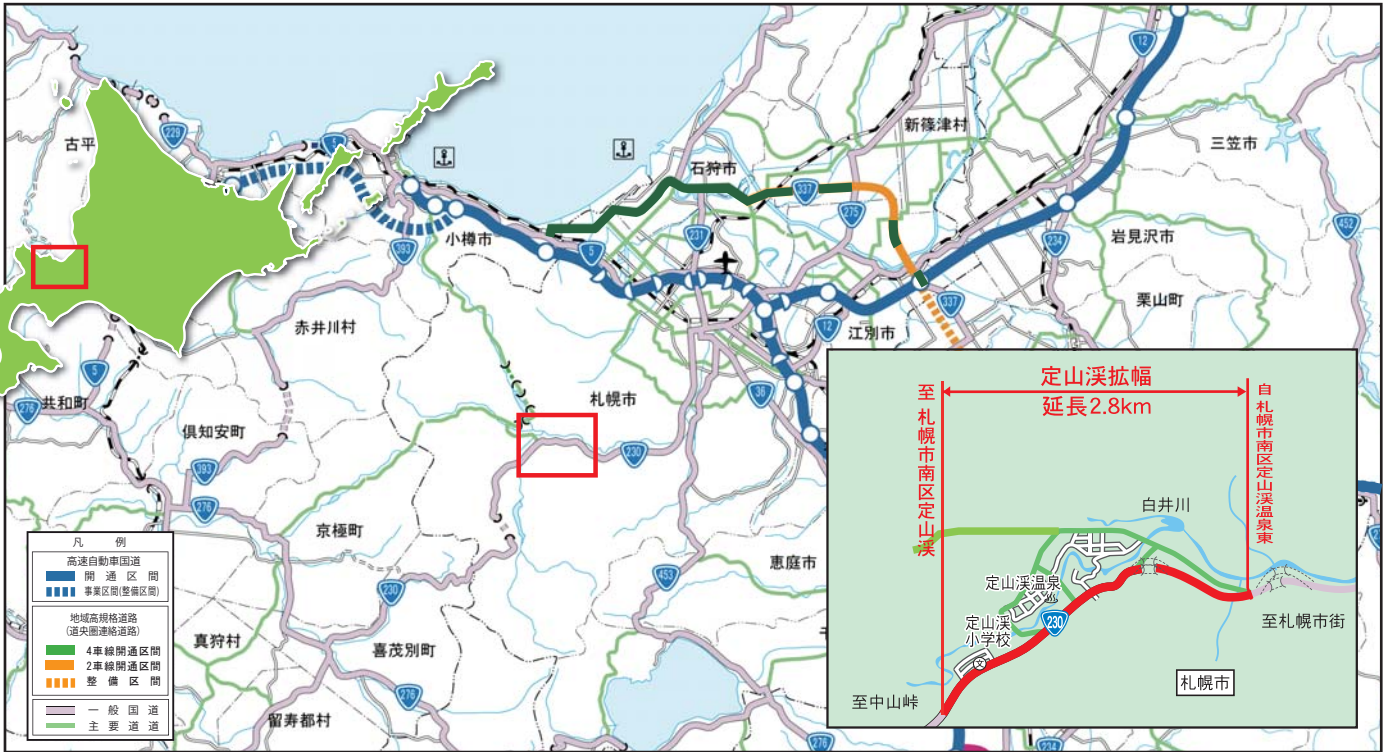


一般国道230号定山溪拡幅

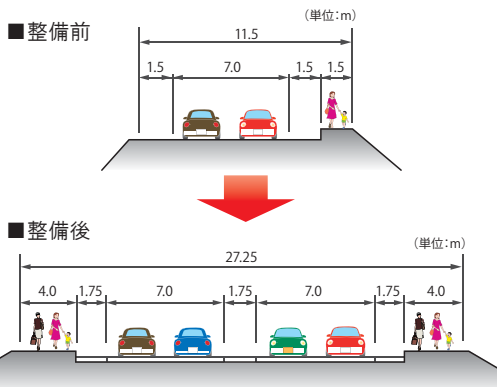
じょうざんけい かくふく



■事業の概要

一般国道230号は、北海道の中核都市である札幌市を起点とし、せたな町に至る総延長約150kmの主要幹線道路です。このうち定山溪拡幅(延長2.8km)は、札幌市内中心部と道内屈指の観光地である定山溪や洞爺湖を結ぶ区間で発生する慢性的な交通渋滞の緩和による道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした4車線拡幅を行う事業です。

標準定規図

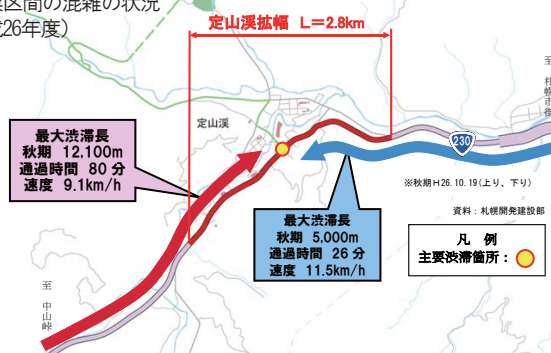


整備効果

1 交通混雑・渋滞の緩和

当該路線は、札幌市から、定山溪や洞爺湖など主要な観光地を経由し、道南方面に至る幹線道路であり、道央圏と道南圏を最短で連絡する重要な路線です。当該事業区間は、特に観光交通が多く、秋の観光シーズンには、最大12.1kmにも及び渋滞が発生(H26)するなど、観光、物流、医療等に影響を与えており、大きな課題となっています。当該道路の整備により、走行環境が向上し、交通混雑の緩和が期待されます。

■事業区間の混雑の状況 (平成26年度)



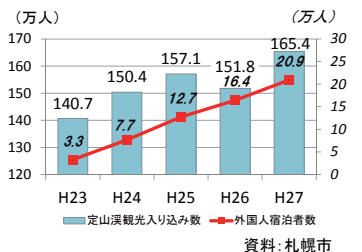
整備効果

2 主要な観光地への利便性が向上

当該路線は、宿泊施設15軒、収容人員8,300名、入込客数約150万人を超える(過去5年間平均)道内屈指の観光地「定山溪温泉」と札幌市を結ぶ重要な路線です。また、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルートとして登録されるなど、観光ルートとしての重要性が一層高まっていますが、当該事業区間は、秋の観光シーズンには渋滞が発生し、バスの定時運行が困難になるなど、大きな課題となっています。当該道路の整備により、交通混雑が緩和され、主要な観光地への利便性向上が期待されます。



【定山溪地域の観光入込客数と外国人宿泊者数】



注1) 旅行速度: 道路の一定区間の距離を走行に要した時間で割った平均速度。